

# 札幌社保協 FAXニュース

2007年 10月26日(金)  
 社保協事務局 発行  
 Tel.823-0867 Fax821-3701  
 E-mail:s-syaho@kin-ikyo.or.jp  
 http://www.sapporo-syahokyo.jp/

11月の国保・  
 介護110番は11  
 月29日(木)  
 です。

## 高齢者のくらし・医療を守れ!

### 年金支給日10.15宣伝 年金や「後期高齢者医療制度」に怒り



東区役所前宣伝

道年金者組合の10.15年金支給日の一斉宣伝行動に合わせて、札幌社保協も協力し取り組みました。

「最低保障年金の確立」「後期高齢者医療制度」の中止・撤回等を訴え、多くの署名が寄せられました。

道・札幌社保協も大通で昼宣伝を行い、「後期高齢者医療制度」と高齢者の医療費負担増の中止・撤回を訴えました

地域	場所	参加者
北区	地下鉄麻生	13
東区	東区役所	10
白石区	地下鉄菊水	9
厚別区	新札幌	7
豊平区	北洋平岸店	6
清田区	西友清田店	13
西区	地下鉄琴似	18
手稲区	手稲駅北口	6
中央区	大通(社保協)	9

#### 東区で障害者の娘さんと暮らす79歳母親

東区の宣伝で社保協のピウを受け取ったらしい女性から、15日に電話がありました。79歳で働いておりご自分の健康保険を持ち、57歳の障害者の娘さんを扶養で保険に入れている。「後期高齢者医療制度」が始まると私と娘はどうなるの?

この方の場合本人は後期高齢者、娘さんは国保への加入となり2重の負担となります。ため息をついていたそうです。

#### 国会議員事務所へ「後期高齢者医療制度」は中止・撤回を要請—北海道勤医協

勤医協は10/24・25の両日、職員・社員・友の会で札幌市内の国会議員事務所へ「後期高齢者医療制度」と高齢者医療費負担増の中止・撤回を求め、15事務所を訪問しました。

与党を含め丁寧な対応をする所がほとんどで、国民世論の高まりが国会に大きな影響を与えていることが良く分かる訪問でした。



紙智子議員事務所にて要請

## 生活保護・母子加算—生きる支えを奪わないで! 「生存権裁判を支援する北海道の会」結成



生活保護母子加算の削減・廃止に反対する裁判をたたかうことを決意した、原告を支援するため、「生存権裁判を支援する会」が10/20に結成されました。小樽・北見・札幌の9人の母子家庭のお母さんが12月に提訴予定ですが、この日は3人

が出席し、135人の参加者に直接胸の内を語りました。

総会では代表に青木紀北大教授、副代表に高田哲名寄市立大教授などを選びました。弁護団を代表して内田信也弁護士が裁判への決意を述べました。

札幌社保協も事務局団体を参加をしています。101年・1000円でこの会を募集していますので、ご支援をお願いします。

## 「後期高齢者医療制度」 は中止・撤回を!

### 怒りの緊急道民集会

11月14日(水)

18:30~20:30

自治労会館4階ホール

○制度をめぐる最新情報

○怒りのリレートーク

○行動提起

※国会議員・広域連合議員

への参加要請を行います

参加費: 500円

道社保協・札幌社保協など